



11/10 SUN
コイこいは今年も大盛況

総合市民会館・消防署

第28回「コイ♥こいフェスティバル・イン・おおたけ」が開催され、開会前から多くの来場者でにぎわいました。市制施行70周年にちなんだ企画やバラエティ豊かなステージプログラム、多種多様な屋台やフリーマーケットなど楽しみが盛りだくさん。消防フェアも防火服を着て消防車と記念撮影をする親子の姿がありました。射的や輪投げをした藤澤萌音さん(大竹小4)は「毎年新しい屋台があって楽しい」と話し、弟の拓末くん(小1)は約1時間かけて巣箱作りに挑戦し「難しかったけど、またやってみたい」と達成感に満ちた表情でした。



11月9日 市制施行70周年市民提案事業で『オレンジクラブ(子育て支援団体)』と『暴力監視追放協議会』が実施した、こども相談室前(総合市民会館山側)の壁画の除幕式が行われました。長澤靖さん(玖波)の描いた下絵に、市内3校の中学生が色づけした壁画は、クジラやダイオウイカなどの海の生きものが実物大に描かれています。長澤さんは「生命が躍動するような絵にしたいと思った」と壁画に込めた思いを話しました。

11月4日 11月とは思えない暖かい日差しに包まれ、絶好のお祭り日和の中、マロンの里交流館で「マロンの里秋まつり」が開催されました。飲食ブースでは、地元の特産品や加工品に加え、うどんやカレー、スイーツなどが販売されました。ステージでは、小方中吹奏楽部や亀居城太鼓の演奏、ダンス、谷和神楽団の舞などが披露され、イベントは大盛況の中、紅白餅まきで幕を閉じました。竹本佳彦さん(岩国市)は「ステージもグルメも豊富でとても楽しめた」と満足そうでした。



イベントなどで撮影した写真は、「広報おおたけ」、市ホームページ、市公式SNSや市の刊行物で使用するほか、マスメディアなどに提供することがあります。



10/20 SUN
天まで届け祭ばやし
大竹地区

大竹の三大秋祭りを締めくくる『大竹祭』が挙行されました。11時の音花火(ひや)を合図に、やっこ行列が大瀧神社を出発。厄年の男性で担ぐみこしや、女性のみ華みこし、各地区が趣向を凝らした山車、太鼓の演奏などを一目見ようと沿道は多くの人でにぎわいました。権現橋の交差点でやっこ行列を見物していた女性(白石)は「やっこの練習の声がよく聞こえていたので、実際に見ることができてよかった」と笑顔で答えてくれました。

大竹祭



手話を体験

10月27日『大竹ふれあい 健康・福祉まつり』がサントピア大竹で開催され、食生活チェックや血糖値測定、健康相談、手話や点字などの体験コーナー、福祉グループの作品展示などに多くの人が訪れました。話し言葉を文字に変換するアプリを体験した介護職の野村智代子さん(岩国市)は「仕事で使えそうです。これは文字化けが少ないみたい」とスマホにインストール。アイマスクをして目の不自由な方の歩行体験をした小田上真由美さん(南栄)は「介助の人に、障害物があると言われましたが、距離感がつかめないのが怖かった」。子どもたちに人気のゲームコーナーやフリーマーケット、飲食ブースにもぎわった一日でした。



10月27日『ジュニアコンサート』がアゼリアホールで開催され、中高生たちの熱演がホール内に響きわたりました。大竹中、小方中、和木中、大竹高校の吹奏楽部に、おおたけ吹奏楽団も共演したコンサートは、コロナ禍で中断した時期を挟み、四半世紀の歴史を刻んできました。それぞれが日頃の練習の成果を発揮した演奏に惜しみない拍手が送られ、ラストは、おおたけ吹奏楽団と中高生80人がステージやアリーナを使った合同演奏で幕を閉じました。子どもが大竹中で演奏した植田菜津美さん(油見)と宮脇亜弓さん(白石)は「家でも練習をしていました。上手だった」と頑張りを褒めてにっこり顔でした。

